

基本理念

誠実・信頼・貢献

国内でも感染の拡大は収まるところを知らず、一人一人の行動変容が求められ、産業の衰退や医療現場の逼迫は予断を許さない状況です。また、世界に目を向けると、欧米を中心とした国々

新年あけましておめでとうございます。
 去年は新型コロナウイルスの感染拡大という、私たち人類が想像もしていなかった事態が世界中を襲い、人々の暮らしや企業活動などが多大な影響を受けることとなりました。



理事長
麻生 亮一

明けまして
おめでとう
ございます

では、感染者数や犠牲者の数において日本の比ではなく、高度にグローバル化された今日では、世界中が手を携えて、現下の困難に立ち向かう連帯が求められていると思います。
 さて、このような、かつて経験したことのない社会情勢にあつて、私たち社会福祉法人紫雲会は、設立から半世紀を迎えています。
 先人の弛まぬ努力と、地域の皆様の支えによって、今日があることを強く感じるとともに、私たち紫雲会は、一人一人が感謝の気持ちを忘れずに、期待に応えられる組織でありたいと考えています。
 社会福祉法人は、文字通り福祉の力で地域や人々の幸福のために貢献することが最大の使命であり、社会全体が疲弊した今だからこ

そ、その原点に立ち返ることが大切であると考えます。
 昨年11月、東京を訪れた国際オリンピック委員会のトーマス・バッハ会長は、「東京オリンピックを安全な形で開催することは、コロナ禍という長いトンネルの向こうに見える希望の光だ。」と述べておられました。これは、その実現可能性を含めて、私たち人類にとって極めて困難なミッションとなるに違いありません。
 私たち紫雲会も、地域の皆様と共に歩み、ささやかでも、希望の光を灯せるよう研鑽してまいります。
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



2021年 1月
第27号

発行：社会福祉法人 紫雲会
 住所：大分県豊後大野市
 三重町本城2050番地
 TEL：0974-24-0011
 FAX：0974-24-0055

ホームページ
<http://siunkai.com>

新年明けまして
おめでとう
ございます

理事長	麻生 亮一
理事	三浦 孝光
理事	渡邊 円世
理事	加藤 孝昭
理事	古庄 節子
理事	安達 直
監事	佐藤喜代明
監事	神田 武
評議員	衛藤 郁郎
評議員	佐藤 豊三
評議員	吉野 英明
評議員	波津久博樹
評議員	平井 庸夫
評議員	三浦 光子
評議員	黒田 栄二



目次

- ・特別養護老人ホーム 紫雲荘 1
- ・盲養護老人ホーム 三国寮 2
- ・障がい者支援施設 本城苑 3
- ・障害者就業・生活支援センター つばさ 4
- ・サポートセンター サライ 4
- ・グループホーム コスモス 4
- ・紫雲荘デイサービスセンター 5
- ・ホームヘルプセンター 紫雲 5
- ・介護保険サービスセンター 紫雲 5
- ・作業所 Beハウス 6
- ・放課後等デイサービス ぽっけ 6
- ・総合防火訓練/事業継続基本計画(BCP)/編集後記 7

安心サポート

社会福祉法人 紫雲会

- | | |
|------------------|---------------------|
| ■特別養護老人ホーム 紫雲荘 | ■ホームヘルプセンター 紫雲 |
| ■盲養護老人ホーム 三国寮 | ■障害者就業・生活支援センター つばさ |
| ■障がい者支援施設 本城苑 | ■サポートセンター サライ |
| ■紫雲荘ショートステイサービス | ■グループホーム コスモス |
| ■紫雲荘デイサービスセンター | ■本城苑作業所 Beハウス |
| ■介護保険サービスセンター 紫雲 | |

特別養護老人ホーム 紫雲荘

基本理念

あなたの日々の暮らしの「安心」「安全」「元気」を感謝の心でお手伝いします



お天気の良い日には、ドライブに出かけます。“いつでも”が難しい時ですが、少しでも気分転換になればいいですね。



施設内行事

ご利用様に楽しんでいただけるように職員が工夫を凝らして行っております。

11月・12月には“のど自慢大会”が行われ、ホールには、ご利用様の美声が響いていました。

新型コロナウイルスが終息した時には、ボランティアの皆様の演芸披露を楽しみにしております。

紫雲荘ショートステイサービス

ショートステイとは、短期間の施設入所により、介護・支援が受けられるサービスです。介護保険で要支援・要介護の認定を受けている方は利用することができます。

利用中は、入浴・排泄・食事等の介護、日常生活支援やリハビリ・レクリエーションが提供されます。遠方への用事や冠婚葬祭、介護者の休養やリフレッシュなどに、ぜひ、ご活用ください。



みんなで協力して…

午前 レクリエーション(体操や歌等)

ご利用様に大人気の時間です。頭と体を使って、楽しんでいただいております。

午後 創作活動

季節ごとの作品を作ったり、新聞やテレビを見てゆっくり過ごしていただいております。



クリスマスツリーの完成

施設内研修

10月13日、豊後大野市民病院の小林美枝様(感染管理認定看護師)をお招きし、「新型コロナウイルス感染症対策」の研修を行いました。

国内の感染状況や症状、感染対策についてご講義いただきました。

未だ、終息の目途が立っておりませんが、これからも感染対策を徹底して参ります。



コロナ終息を願って…
ショートステイご利用者様・作

盲養護老人ホーム 三国寮

郷土料理作り

十月二十八日、恒例の郷土料理作りを行いました。献立は団子汁と巻き寿司です。中庭に直径七十センチの大鍋を準備し、入居者の皆様がこねた団子を職員と共に伸ばしながら、大鍋の中に入れていきます。個性的な形の団子もありましたが味は全て一流でした。巻き寿司は女性入居者二名と職員が担当。ご飯と具材のバランスを何度も確認しながら丁寧に巻き、きれいに完成しました。出来上がった料理は、その日の昼食に頂きました。懐かしいおふくろの味に、お腹も心も満たされました。



「こうやってのばすんで」



だんごこね



「おいしいね」



巻き寿司作り

紅葉ドライブ

十一月十二日、白山溪谷に紅葉狩りへ出かけました。気持ちの良い秋空の下、落ち葉を踏みカサカサという音を楽しんだり、イチヨウ、紅葉の木や葉に触ってみたり、野鳥の声に耳を傾けたりして全身で秋を感じていただきました。周辺を散策しウォーキングで汗を流す方もいました。思い思いに過ごした後、お昼は手作りのおにぎり弁当を頼張り、満足顔で帰路につきました。



ハイ・チーズ



三国寮文化祭

十一月十七日、文化祭を行いました。皆さん当日ぎりぎりまで熱心に練習に励んでおり、詩吟、俳句、カラオケ、唱歌など教室ごとに日頃の成果を発表しました。そのほか、職員の寸劇、踊り、飛び入りのカラオケ、鄭政男さんと赤嶺多賀子さんによるハーモニカ演奏などが花を添え、充実した内容になりました。

終わった後「良かったよ」と互いの健闘を称えあう皆さんの表情は、達成感に満ち溢れていました。



羽田唱歌教室



荒城の月を演奏



長崎の女を演奏



後藤カラオケ教室



堀詩吟教室

障がい者支援施設 本城苑

苑長挨拶



障がい者支援施設
本城苑
施設長
廣瀬 政明

令和三年、明けましておめでとうございます。

昨年は、「新型コロナウイルス」感染拡大により、ご利用者様やそのご家族の皆様には、外出や面会の制限等、特に在宅から利用される皆様には、度々ご利用を控えて頂くこととなり、大変ご不便をおかけ致しました。近い将来の終息を期待しているところですが、見通しが立たない状況には変わりありません。

現在は、ご利用者様・職員共に変わりなく過ごしておりますが、今後コロナに加え「インフルエンザ」の流行も予想されます。職員全員で対策を検討し、引き続き安全な日常生活を提供できるよう取り組んでまいります。

関係者の皆様には、新しい年が明るく希望に満ちた年となりますようお祈りいたします。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

園芸班



園芸班は、昨年はたくさんの野菜を収穫することができました。10月に苑の美化のため、パンジーを植えました。

リハビリ班



リハビリ班は、近場の緒方原尻の滝や大野町の道の駅へ出かけ、食事をしたり、散策をしたり、リフレッシュをしています。

創作班



創作班の方の壁面です。折り紙や貼り絵を上手に使い、毎月素晴らしい作品を多目的ホールに飾っています。

ミニ運動会



昨年のミニ運動会は、コロナウイルス感染予防のため、ご家族を招待できませんでしたが、水くみ競争や玉入れなど大盛況でした。

夏祭り

待ちに待った夏祭り！中庭にてヨーヨーすくい等を楽しみ、職員手作りの綿菓子も食べました。特に焼き鳥やカレーが絶品で、皆さん大変喜んでいました。



弁当の日

「弁当の日」を取り入れ、中庭で食べたり、少しでも「非日常」を味わえるよう工夫しています。





**11月14日に交流会
を開催しました。**

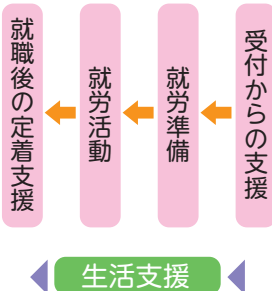
〒879-7141
豊後大野市三重町
秋葉241番地
電話：0974-22-0313
FAX：0974-22-0372

- ・ 主任就業支援員 一名
- ・ 就業支援員 一名
- ・ 生活支援員 一名
- ・ 障がい者雇用アドバイザー 一名

支援担当者

(令和2年度)

支援の流れ



お気軽にご相談下さい。
個人情報厳守いたします。

障害者就業・生活支援センターつばさでは、専門の相談員が「就職がなかなかできない」「採用されてもすぐに辞めてしまう」などのお悩みをお持ちの方のため、就業面だけでなく生活面からも一体的に支援を行っています。

今年度はコロナ禍でなかなか思うような活動ができていない所もありますが、感染予防の徹底を図りながら支援に努めてまいります。

豊肥地区就業・生活支援センター
つばさ
(雇用安定等事業)
(生活支援等事業)
(障がい者雇用アドバイザー)配置事業

（雇用安定等事業）
（生活支援等事業）
（障がい者雇用アドバイザー配置事業）



相談内容

- ・福祉サービス利用に関すること
- ・医療・介護に関すること
- ・児童の就学等に関すること
- ・（一般）基本相談
- ・計画相談（児・成）
- ・地域移行・定着支援

〒879-7144
豊後大野市三重町本城2054番地
電話：0974-22-1041
FAX：0974-22-2377

サポートセンター サライ

（相談支援事業所）

サポートセンターサライは、市の委託相談支援事業所です。毎年、様々な相談を受けており、年を追うごとに相談件数も増えていきます。

最近の福祉の動向として、今年度中までの整備が急がれている地域生活支援拠点等の整備（①相談支援体制②緊急時の受け入れ③体験の機会の場④専門的人材の確保・養成⑤地域の体制づくり）でわが豊後大野市では①と②を整備中であり体制が整いつつあります。

今後、地域生活支援拠点等の整備を中心に在宅で生活している障害者が安心して生活できる環境を整えていけるよう行政・委託相談支援事業所を中心に取り組んで参りたいと思います。



グループホームコスモスでは、9月に長年いらっ
しゃったYさんが退所され、9名の利用者の方々と
生活していました。11月に入り、今まで本城苑の
日帰りサービスを利用していたYさんが入所する
ことになり、皆さん大変喜んでいきます。新型コロナ
ウイルスの影響で、ゆうあいスポーツ大会、ほのぼ
のおおのラブライブ、ふるさと祭りなど、すべて中
止になってしまいました。6月の佐伯買物外出は、
よい思い出になりました。今後は本城苑担当職員も
巡回訪問し、皆さんの苦情・相談を聞き取りながら、
充実した生活を送っていただきたいと思います。

グループホーム
コスモス

紫雲荘デイサービスセンター

折り紙教室ですよ～



体操・リハビリで
健康を保っています♪



三密を避けて
楽しくやってまーす



健康チェック・昼食・排泄介助・レクリエーション・軽体操・脳トレ・歌・電気マッサージ器・入浴介助などを行っています。



ホームヘルプセンター紫雲 (訪問介護事業所)

感染症予防の徹底

マスク着用
手指の消毒

感謝の心
あなたの気持ちに寄り添います



食事・入浴・排泄などの介助を行う「身体介護」、買物・調理・掃除などを行う「生活援助」をはじめ、ご自宅での生活に関するサービスや日常生活などのアドバイスをいたします。
いつでも、お気軽にご相談下さい。

介護を必要とされる方のご自宅にホームヘルパーが訪問して生活のお手伝い(自立支援)をさせていただきます。

介護保険サービスセンター紫雲 (居宅介護支援事業所)

いつでも、お気軽にご相談下さい。
誠心誠意サポートさせていただきます。



1. 介護に関する様々な相談に応じます。
2. 介護保険に関する申請代行をいたします。
3. 適切な介護サービスが利用できるように市町村、介護サービス事業所との調整を行います。
4. 定期的にご自宅を訪問し、ご本人、ご家族の心身の状況に応じたケアプランの作成を行います。
5. 必要時に介護保険施設への入所の紹介などを行います。

業務内容

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるようにケアマネージャー(介護支援専門員)が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等をお尋ねし、ケアプランを作成します。
ケアプランに基づいたサービスを提供する事業所との連絡・調整などを行います。

作業所 Beハウス

利用者自治会

明けましておめでとうございます。
作業所での活動は、地域の方々にご理解をいただき、施設外就労という形でお仕事をいただいております。

地域の企業との協働や市からの委託事業、野菜作りや栗拾い、生姜のひげとり、加工品作りなど広く展開できればと考えております。

作業所では、利用者の皆様、1人ひとりが毎日楽しく、笑顔で作業が行えるよう、利用者と職員で話し合い、考え協力していこうと思っております。今年も宜しくお願いします。

内職室

令和2年8月
加工室を改築し
10月より内職室
を作りました。



会長よりご挨拶

明けましておめでとうございます。
昨年は一人も怪我がなく仕事が出来ました。
今年もBeハウスを宜しくお願いします。



作業所 Beハウス
利用者自治会
会 長
渡辺 伸

外出

令和2年外出
行事は久住ニ
ー丸福へ出かけ
ました。



施設外就労

大野町にて生
姜の仕事へ行き
皆さん楽しみな
がらヒゲ取りな
ど一生懸命頑張
りました。

放課後等
デイサービス

ぽっけ

令和3年3月事業開始予定



プレイルーム



相談室

療育ルーム



お待ちしております！



放課後等デイサービスとは授業の終了後又は学校の休業日に生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を行う障害福祉サービスです。春休みの開始に向けて、準備をしています。
子供たちの元気な声や姿が見られるようになる事を、職員一同楽しみにしています。
利用のご希望や、ご相談は本城苑までご連絡ください。

「ぽっけ」の名称は、本城苑グループ全職員で考えて決めました。「まなび」や「あそび」のアイデアなど、たくさんの可能性が「ぽっけ」から生まれますように…

法 人 研 修

コロナ終息を祈って花火を打ち上げ

昨年の夏は新型コロナウイルスの影響で、盆踊りや夕涼み会が中止となり、利用者の皆様にとって味気ないものとなりました。

そこで、法人全体で協議し、利用者の皆様楽しんでいただき、また、思い出に残る企画として、花火の打ち上げを行いました。

10月12日19時、豊後大野市農村環境改善センターのグラウンドで打ち上げが始まると、轟音と共に打ち上げられた花火の大輪が夜空を照らし、ご利用者、職員に加え、近隣から見物に来た皆様も、間近で打ち上げられる花火を息を飲んで見つめていました。

わずかな時間ではありましたが、一日も早く平穏な日々が戻ることを願う気持ちを、地域の皆様と共有できたようなひと時でした。



紫雲会総合防火避難訓練

毎年、消防署立会いのもと行われる「建物火災」を想定した避難訓練を実施しました。紫雲荘・本城苑・在宅事業所の職員が、入居者の方々を避難誘導しました。消防署からの講評では、このように職員数の多い日昼の火災だけでなく、夜間の火災も想定しながら今後も訓練を続けてほしい事、スプリンクラーの設置があるので、職員数が少ない時は、出火場所の利用者をはじめに出す、2階では、ベランダに利用者を出すだけでも、早い救出に繋がる事等のアドバイスをいただきました。今後も訓練を重ね火災を起こさないように努めてまいります。

(10月23日実施)



人

昨年11月2日、年齢や障がいに関わりなく働ける社会を目指して、「豊の国雇用促進フェスタ」が大分市で開催されました。当日会場では、障がいを克服し、模範的な職業人として自立している3名の方が優良労働者として表彰され、本会所属の赤嶺成子さんがその中の一人として、県知事賞を受賞されました。

赤嶺さんは平成20年3月、大分県立竹田支援学校高等部を卒業と同時に入職され、ユニット型特別養護老人ホーム紫雲荘でご利用者様のお世話にあたってきました。洗濯物を畳んだり、トイレや洗面台の掃除、それから介護職員が行うケアの補助も行っています。

「仕事は大変な時もあるけど、周りのスタッフが優しく接してくれる。休憩時間に一緒にお茶を飲む時が楽しい。」と笑顔がこぼれます。今回の受賞を機に、さらなる活躍を期待しています。



事業継続基本計画（BCP）

昨年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、緊急事態宣言が行われ、様々な行事やアクティビティ活動が制限されました。またご家族の皆様におかれましては面会制限などで色々ご迷惑・ご不便をおかけしております。

私共は、様々な情報が溢れている中で、情報だけに流されることなく、状況を冷静に見極め検討し、瞬時に最善の方法を決断し実行していく必要があります。

災害や感染症などの事態が発生した時、ご利用者様の安全・職員の安全を確保しつつ、運営を切り替えながら、混乱せず業務を継続するため、紫雲会としてBCP：Business Continuity Plan（新型コロナウイルス：感染症版）を作成し、取り組んでいます。

まだまだ改善すべきところが多々ありますが、話し合い・勉強会などを重ね、より安全な施設運営を目指していきます。

編集後記



明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスへの対応に明け暮れた一年であり、生命の危険はもちろん、幅広い業界で経営危機が続いています。

親の失業で仕送りがストップし、アルバイト先も休業になった学生の困窮を伝えるニュースに胸が痛くなる思いでした。

「自助」「共助」「公助」言葉で言うのは簡単ですが、本当に支援が必要な人の声が社会に届く仕組みになっているのか。コロナウイルスによって突き付けられた私たちのもう一つの課題です。

国内外でワクチンの開発が急がれています。科学の力に期待するところ大ですが、アフターコロナのその先に、社会の絆も強くなってほしいものです。

BCP(事業継続計画)策定目的

(目的)

紫雲会において災害や感染症などの事態が発生した時、運営を切り替える発動条件を定めるものである。

業務の縮小・縮小・休止に関する基準・実施事項等を定め「通常営業」が「縮小営業」が「完全休業」が判断していく。

1. 緊急事態の発生時に対応できる

災害や感染症などの緊急事態が起こった時、すぐに職員が同じ目安をもって対応できるようにするという事がBCP策定の最大のメリットである。事業を早期復旧することで、利用者の生命を最優先とし、事業の展開が早くでき、また経営面での被害を最小限にとどめることができる。

自然災害BCPは、事象発生と同時に多くの事業遂行に支障が出てくる状況下で、優先度の高い業務から回復させる形

感染症BCPは、感染拡大に応じて事業復旧がどんどん困難になっていく状況下で、優先度の低い業務から縮小・停止させる形

2. 重要な業務や優先度が可視化・職員の意識向上

緊急事態に備え、瞬時に最善の方法を決断し実行しなければ、被害がますます大きくなる可能性は高くなる。日頃からBCPの検討や見直しを行い、職員一人ひとりに、また各部署で緊急事態に対する危機意識、緊急対応、迅速化、スピード感ある復興などに対して、高い意識を持って行動できるようにする。

3. 地域・関連機関からの信頼性向上につながる

緊急時の対策がしっかりと整っていれば、対外的に見ても信頼性の向上につながる。また地域が被災しても事業が継続できていれば、地域へ貢献することもできる。